

JIS A 6909 建築用仕上塗材
可とう形改修塗材E/RE、
複層塗材E/RE
上塗材 耐候形1種

ニッペファインシリコンフレッシュII

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

超低汚染形ターペン2液形アクリルシリコン樹脂塗料



ニッペ **ファインシリコンフレッシュ**® シリーズ

FINE SILICONE FRESH SERIES

|ニッペファインシリコンフレッシュII

|ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー

高耐候性・超低汚染性・使い易さ・・・三拍子揃った塗料です。

これまで多くのご愛顧をいただいていた
「ニッペファインシリコンフレッシュシリーズ」が
リニューアルしました。

従来の性能はそのままに、さらに使いやすく、さらに優れた耐候性に。

「ニッペファインシリコンフレッシュシリーズ」は新設・塗り替えを問わず、
外部、鉄部、付帯部などの塗装に幅広くご使用いただけます。

超低汚染形ターペン2液形アクリルシリコン樹脂塗料

ニッペ ファインシリコンフレッシュ® シリーズ 7つの特長

1

高耐候性

強固なシロキサン結合によって架橋するため、光沢低下や変色が極めて少なく高耐候性を発揮します。

2

超低汚染性

特殊セラミック成分による親水化技術がすぐれた低汚染性を実現します。

3

ターペン可溶

弱溶剤系であるため臭気がマイルドで、さまざまな下地に塗装できます。

4

高弾性

「ニッペファインシリコンフレッシュII」は、様々な高弾性仕様に対応可能です。

5

抜群の作業性・多目的用途

塗装時の発泡がなく、抜群の塗りやすさです。
各種外壁(サイディングボード・モルタルなど)、鉄部、FRP、硬質塩ビ部等の新設、塗り替えに幅広く適用できます。
また、「ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー」によって、コンクリート打ち放し面保護塗装工法が可能です。

6

防藻・防かび性

藻・かびの発生を抑制します。

7

透湿性

透湿性が高いため結露から建物をまもります。



高耐候性 ～耐候性試験B法(JIS A 6909 複層仕上塗材の耐候性品質)～

劣化促進機「ウェザーメーター(キセノンランプ)」で、照射時間に対する光沢保持率を測定。ニッペファインシリコンフレッシュIIは「耐候形1種」の基準を上回る結果を示し、特に耐候性にすぐれた塗料といえます。

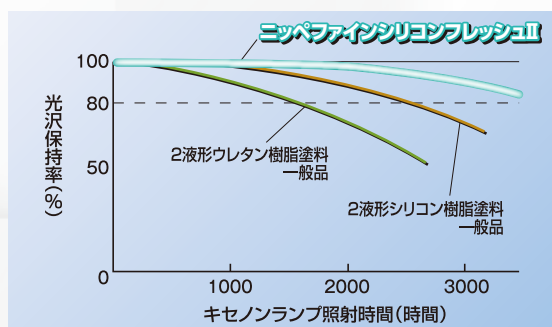
■耐候性の分類

照射時間2500時間で光沢保持率80%以上:「耐候形1種」

照射時間1200時間で光沢保持率80%以上:「耐候形2種」

照射時間600時間で光沢保持率80%以上:「耐候形3種」

【高耐候性比較データ】



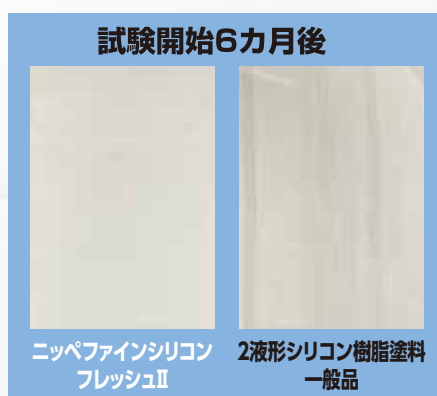
超低汚染性 ～雨だれ汚染暴露試験～

屋外にて塗板を暴露し、雨筋状の汚れのつく程度を目視により測定。試験開始6ヵ月後では、他社超低汚染形塗料と比べて雨筋状の汚れが少ないことがわかります。

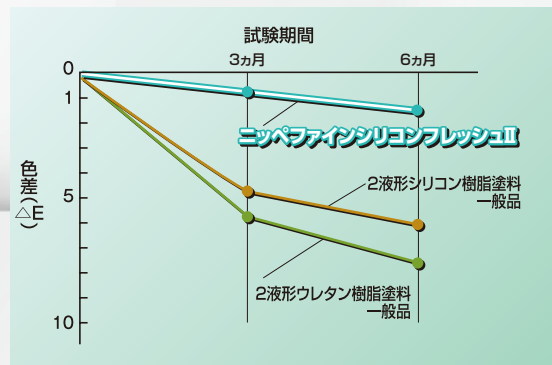
■低汚染のメカニズム

雨垂れによる汚染などを防止するためには、塗膜表面が水になじむような性質であることが重要です。

カーボンなどの汚染物質には油の性質があり、塗膜表面も水をはじくような油の性質(親油性)を持っていると、汚染物質が表面に付着しやすくなります。しかし塗膜表面に水になじむような性質(親水性)があると、油の性質の汚染物質は付着しにくく、降雨時の雨水が汚染物質と一緒に流してしまいます。



【超低汚染性比較データ】



※ΔEの数値が小さいほど、耐汚染性にすぐれていることを示しています。
※建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合があります。

●用途

外部壁面、内外部鉄構造物など

●適用下地

コンクリート、セメントモルタル、サイディングボード[※]、PC板、ALCパネル、GRC板、セメント無機繊維板、鋼材など

●ポットライフ(23℃時)

硬化剤混合後
6時間

※高意匠サイディングボードの場合は、下塗りにニッペファインパーフェクトシーラーまたはニッペ1液ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。

●荷姿

塗料名	色相	つや	容量	使用量 (kg/m ² /回)	1セット当たりの塗りm ² (m ² /回/缶)
ニッペファインシリコンフレッシュII	各色	つや有り 3.5・7分つや有り	16kgセット { 塗料液 14kg 硬化剤 2kg } 3.2kgセット { 塗料液 2.8kg 硬化剤 0.4kg } [塗料液:硬化剤=7:1(重量比)]	0.12~0.14	114~133(16kgセット) 22~26(3.2kgセット)
ニッペファインシリコンフレッシュリヤール	透明 カラークリヤー	つや有り・つや消し 3.5分つや有り	15kgセット { 塗料液 12kg 硬化剤 3kg } [塗料液:硬化剤=4:1(重量比)]	0.12~0.14	107~125

●下塗り用塗料

塗料名	容量	塗料名	容量
ニッペパーフェクトフィラー	15kg	ニッペファイン浸透シーラー	15kgセット(塗料液/12.5kg 硬化剤/2.5kg)
ニッペパーフェクトサーフ	15kg	ニッペDANタイル中塗Rホワイト/Sホワイト	20kg
ハイボンファインプライマーII	16kgセット(塗料液/14.4kg 硬化剤/1.6kg) 4kgセット(塗料液/3.6kg 硬化剤/0.4kg)	ニッペタイルラック1液 EPO-Sベース	20kg
ニッペDANフィラーエポ	16kg	ニッペDANエクセル中塗J	18kg

注 ●本製品は、すぐれた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が、塗料液や硬化剤に混入しないようにしてください。また、空気中に含まれる水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、冷暗所に保管してください。マスキナーなどの封では不十分です。
●長期間の保管(6ヶ月以上)は避けてください。また、開栓後はなるべく早く使い切ってください。

注]各ページの各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注]塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります) 注]旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

●標準塗装仕様(コンクリート・モルタル面 新設の場合)

●コンクリート・モルタル面 平滑仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー (ターベン可溶2液形エポキシ樹脂下塗り材)	1~2 ^{※4}	0.16~0.20	4時間以上 5日以内 ^{※5}	無希釈	-	ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュII	2	0.12~0.14	4時間以上	塗料用 シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

※上記下塗り以外に、浸透性シーラー(新)も使用できます。

●コンクリート・モルタル面 吹付けタイル仕上げ (JIS A 6909 複層塗材RE)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー (ターベン可溶2液形エポキシ樹脂下塗り材)	1~2 ^{※4}	0.16~0.20	4時間以上 5日以内 ^{※5}	無希釈	-	ウールローラー エアレススプレー
主材	ニッペタイルラック1液 EPO-Sベース	1~2 ^{※3}	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュII	2	0.12~0.14	4時間以上	塗料用 シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

※上記下塗り以外に、浸透性シーラー(新)、一液浸透シーラーも使用できます。

※3 主材の使用量は塗り回数1~2回で使用するトータル量です。

※4 **ぬれ感が出るまで**を目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合はその部分を増し塗りしてください。

※5 夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、上塗りとの密着性が悪くなります。

その場合は、再度下塗りを塗装するか、ペーパーをかけるなどしてください。

●コンクリート・モルタル面 高弾性凹凸仕上げ (JIS A 6021 建築用塗膜防水材料上塗りとして適用できます。)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー透明 (水性カチオンエポキシ複合形下塗材)	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	-	はけ・ウールローラー
中塗り①	ニッペDANエクスル中塗J (水性アクリルゴム系高伸長形複層弾性塗材)	1	1.70~2.10	4時間以上	水道水	4~7	タイルガン
中塗り② ^{※6}	ニッペDANエクスル中塗J (水性アクリルゴム系高伸長形複層弾性塗材)	1	0.60~1.00	16時間以上	水道水	0~2	タイルガン
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュII ^{※3}	2	0.12~0.14	4時間以上	塗料用 シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

※3 つや有りのみ適用可能です。つや調整剤は十分な弾性機能が得られないため適用は避けてください。

※6 ヘッド押さえ仕上げの場合、押さえ用ローラーに塗料用シンナーAを含ませて、中塗り2工程終了直後から30分の間に押さえてください。

●標準塗装仕様(コンクリート打放し面 保護塗装工法)

●ファインブレスシステム (新設コンクリート打放し面 生地仕上げ)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	よごれ、ほこりなど付着物を除去し、乾燥した清浄な面とする。(一般の下地調整材による補修やサンダーがけは原則としてできません。)						
はっ水処理	ニッペファインブレード (弱溶剤形コンクリート生地仕上げ用はっ水剤)	1	0.16~0.20	16時間以上	無希釈	-	ウールローラー エアレススプレー
下塗り	ニッペファインブレード (弱溶剤形コンクリート生地仕上げ用中塗りクリヤー塗料)	1	0.12~0.15	4時間以上	塗料用 シンナーA	30~40	エアスプレー ^{※8}
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー ^{※7}	1	0.12~0.14	-	塗料用 シンナーA	20~40	エアスプレー ^{※8}

●ファインブレスシステム (経年コンクリート打放し面・旧塗膜なし 生地仕上げ)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
水洗い	高圧洗浄し、浮き塗膜などは除去し、乾燥した清浄な面とする。						
はっ水処理	ニッペファインブレード (弱溶剤形コンクリート生地仕上げ用はっ水剤)	1	0.16~0.20	16時間以上	無希釈	-	ウールローラー エアレススプレー
下塗り	ニッペファインブレード (弱溶剤形コンクリート生地仕上げ用中塗りクリヤー塗料)	1	0.12~0.15	4時間以上	塗料用 シンナーA	30~40	エアスプレー ^{※8}
中塗り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー つや有り	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用 シンナーA	20~40	エアスプレー ^{※8}
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー ^{※7}	1	0.12~0.14	-	塗料用 シンナーA	20~40	エアスプレー ^{※8}

●ファインブレスシステム (経年コンクリート打放し面・旧塗膜あり 生地仕上げ)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
水洗い	高圧洗浄し、浮き塗膜などは除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り ^{※9}	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー つや有り	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用 シンナーA	20~40	エアスプレー ^{※8}
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー ^{※7}	1	0.12~0.14	-	塗料用 シンナーA	20~40	エアスプレー ^{※8}

※7 つや調整剤では、Pコン部分などで、タマリやダレなどができると、つや調整剤による白化状態が発生する場合がありますので、塗装時は十分ご注意ください。

※8 ニッペファインブレードとニッペファインシリコンフレッシュクリヤーをローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し、仕上りをご確認ください。

その場合、ローラーは短毛ローラーにて塗装し、塗装時の希釈率は「0~10%」で塗装してください。(基本的にスプレーでの塗装をおすすめします。)

※9 旧塗膜がはく離している部分には、はっ水処理と下塗り処理を事前に行なってください。

塗替え仕様について
経年した外壁の打ち放しコンクリート面は、新設時の打ち放しコンクリート面比べて雨水、炭酸ガスおよび紫外線などによりコンクリート表面は風化され、塗装下地はポーラス(多孔質)状態になっています。そのため塗料の吸い込みが著しく、下塗り(ニッペファインブレード)塗装仕上げ段階で白化状態になる場合があります。〔ニッペファインブレードには、濡れ肌防止のための特殊顔料が配合されており、含浸力の高い樹脂分が基材に吸いこまれて表面に特殊顔料だけが取り残され白化します。〕その場合、下塗り塗装後(ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーつや有り)を塗り付け、白化状態がなくなるまで塗りこんでください。

●標準塗装仕様

●各種外壁 吹き付けタイル・サイディングボード・旧塗膜が高弾性塗膜などのトップコートの塗り替え^{*1}

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュII [※]	2	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

※ 旧塗膜が高弾性塗膜の場合、つや有りのみ適用可能です。つや調整品は十分な弾性機能が得られないため適用は避けてください。

^{*1} 下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗りに「ニッペファイン浸透シーラー」を塗装してください。

●一般鉄部の新設塗装・塗り替え、金属素地系 アルミカーテンウォールの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理 / 下地調整	(塗り替え) 彫れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。 (新設) 完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。また、ほこり、よごれ、油脂分なども入念に除去する。						
下塗り ^{*2}	ハイボンファインプライマーII (弱溶剤形2液エポキシさび止め塗料)	1	0.16~0.18	4時間以上 ^{*3} 7日以内	塗料用シンナーA	0~10 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュII	2	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

^{*2} 一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、1液ハイボンファインデクロ、速乾PZヘルゴンエコ、パーフェクトプライマーも使用できます。

^{*2} さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なクレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

^{*3} 夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、上塗りとの密着性が悪くなります。その場合は、再度下塗りを塗装するか、ペーパーをかけるなどしてください。

●硬質塩化ビニール、FRP部の塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	彫れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。 さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュII	2	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

●標準塗装仕様(コンクリート・モルタル面 塗り替えの場合)

●コンクリート・モルタル面 微弾性フィラーを用いた塗り替え(JIS A 6909 可とう形改修塗材E)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペパーフェクトフィラー (水性反応硬化形ソフトフィラー)	1	0.50~0.90	4時間以上	水道水	1~5 2~5	砂骨ローラー タイルガン
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュII	2	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

※上記ニッペパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が進むような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することをご推奨致します。(作業性や仕上がりの向上をさらに図ることができます。)

●コンクリート・モルタル面^{*} 下地の模様を生かした塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペパーフェクトサーフ (外壁改修用高外観サフェーサー)	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	ウールローラー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュII	2	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

※サイディングボード面にもご使用いただけますが、高意匠サイディングボードの場合は、下塗りにニッペファインパーフェクトシーラーまたはニッペ1液ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。

●コンクリート・モルタル面 弾性フィラーを用いた高防水仕様様の塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
中塗り① (下塗り)	ニッペDANフィラーエポ (可とう形改修塗材・防水形複層塗材)	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
中塗り②	ニッペDANフィラーエポ (可とう形改修塗材・防水形複層塗材)	1	0.80~1.30	16時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
上塗り	ニッペファインシリコンフレッシュII	2	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

ニッペ ファインシリコンフレッシュ® シリーズ

● 施工上の注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにご確認ください)

- ・「3~7分つや有り仕上げ」の場合、上塗りの1回目に「つや有り」、2回目に「3~7分つや有り」をご使用ください。
- ・本塗料は、優れた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が混入しないようにしてください。また空気中に含まれた水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、0°C~40°C未満に保てる冷暗所に保管してください。
- ・蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、葉葉サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですら旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ・塗装場所の気温が5°C未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整(目粗し)を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に付着しにくい素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。
- ・脆弱層が下地調整で除去しきれない場合や劣化の著しい下地の場合は適用を避けてください。また、吸込みの大きい下地への施工に際しては、使用量は濡れ感が出るまでを目安にし、必ず試験施工にて付着性を確認してください。
- ・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目安とし、素地への吸込み箇所がある場合はその部分を増し塗りしてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合は、電動攪拌機などで均一になるまで行ってください。
- ・貯水槽などで藻の発生を抑制するために遮光性能を必要とする場合は、下塗りおよび上塗りともに規定の使用量をおまもりください。使用量は必ず換気をしてください。なお、塗装することにより太陽光の透過を完全に遮断するものではありません。一部の太陽光が透過していても規定の使用量があれば十分に藻の発生を抑制効果が得られます。
- ・つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- ・つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- ・過剰希釈をすと本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- ・つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かはんしながらご使用ください。
- ・防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- ・被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- ・塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染から発生の原因になります。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜が塗料用シンナーで容易に溶解するつや有り塗料の場合は、縮みや膨れが発生するおそれがあるため、塗装は避けてください。弱溶剤1液形塗料や水性塗料での塗り替えをお奨めします。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。

- ・既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
- ・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、このような場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行なってください。
- ・旧塗膜の種類が不明の場合には必ず試験施工で適性を確認してください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製H1500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材チオファイラー、ニッペファイラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- ・内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ・材節の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用ください。
- ・新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗料時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・養生、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ・薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認ください。
- ・濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような個所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- ・濃彩色を塗装する際には、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてご確認ください。
- ・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・塗装方法により色相が多少変化する場合があるため、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- ・汚れ、さすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・クロス上の塗装は避けてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- ・開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

● 安全衛生上の注意事項 (ニッペファインシリコンフレッシュII硬化剤)

- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地しアースをすること。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する措置を講ずること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
- ・屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・換気が不十分な場合:呼吸用保護具を着用すること。
- ・本来の用途以外に使用しないこと。
- ・気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
- ・特別な処置が必要である。
- ・口をすすぐこと。
- ・漏出物を回収すること。

- ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当を受けること。
- ・呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ・火災の場合:消火するために適切な手段を使用すること。
- ・皮膚又は髪に付着した場合:直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- ・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管すること。
- ・袋旋して保管すること。
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・直射日光や水濡れは厳禁。
- ・塗料等の缶の積み重ねは3段までとする。
- ・屋外で使用する場合は、使用場所と隣接する家屋の換気口、空気取入れ口等に目張りをするなどして、蒸気、ガス等が屋内に入らないようにすること。
- ・内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。
- ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 ※詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
 □本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

横倒禁止

危険



危険有害性情報

引火性液体及び蒸気/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ/(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ/(麻酔作用)眠気又はめまいのおそれ/長期にわたる、又は反復く露による臓器の障害のおそれ/長期継続的影響によって水生生物に毒性

日本ペイント株式会社

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 北海道支店 ☎011-370-3101 | 近畿支店 ☎06-6455-9320 |
| 東北支店 ☎022-232-6711 | 中国支店 ☎082-281-2180 |
| 関東支店 ☎03-5479-3614 | 四国支店 ☎0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 | 九州支店 ☎092-751-9861 |
| 中部支店 ☎052-461-1960 | |

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- 「ファインシリコンフレッシュ」登録第4799904号は、日本ペイント株式会社が権利者の登録商標です。
- ©Copyright 2022 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-A003

TY221010T

2022年10月現在